SDGs新聞	大阪・関西万博 （公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会）

空気中から二酸化炭素を取り出す未来の技術「DAC」

SDGsラジオを読んでみよう！

空気中から二酸化炭素を取り出す？！
そんな魔法のようなことを可能にするのが、DAC（ダイレクトエアキャプチャー）という技術です。
DACは環境にやさしい最先端の技術で、空気中から地球温暖化の原因になる二酸化炭素をキャッチし、
取り除くことができるんです。
そして回収した二酸化炭素は燃料をつくったり、農業に使ったり、さまざまな使い方が期待されているんですよ。
また、DACの装置は、どこでも簡単に設置できるので、世界中のいろんな地域で二酸化炭素を減らすことができます。
2025年開催の大阪・関西万博でもDACの装置を会場に設置し、空気中から二酸化炭素を取り出す実験を行っています。
さらに、集められた二酸化炭素を用いて燃料をつくり、会場内のキッチンなどで使われています。
今社会では、地球にやさしい技術が次々に登場しています。
他にどんな技術があるか、ぜひ、調べてみてくださいね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：空気中から二酸化炭素（CO2）を
キャッチするイメージ画像

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を大きく減らす方法として、今、「DAC（ダイレクトエアキャプチャー）」という技術が注目されています。DACを使えば、空気中の二酸化炭素を直接キャッチして取り出すことができます。また、回収した二酸化炭素は燃料として再利用したり、農業に活用したり、あらゆる場面で使われることが期待されています。さらに、DACはどこでも簡単に設置できるので、世界中のさまざまな場所で使えるという点でも、大きな注目が集まっています。

（提供RITE）：大阪・関西万博で二酸化炭素を回収する
装置のイメージ画像

2025年開催の大阪・関西万博では、DACの装置を会場に設置し、空気中から二酸化炭素を取り出す実験を行っています。また、DACによって集められた二酸化炭素は、会場内のキッチンなどで使われています。今社会では、再生可能エネルギーやこれまでになかったまったく新しいリサイクル技術など、環境を守るためのアイデアが次々と生まれています。みなさんも、他にどんな技術があるのか調べてみてください。きっとたくさんの新しい発見があります。

キーワード

地球温暖化

二酸化炭素などの温室効果ガスによって、地球の気温が徐々に上がる現象のことです。これにより、気候が変わったり、異常気象が増えたりします。

二酸化炭素

二酸化炭素は、空気中にある気体のひとつです。車の運転や工場の煙、人や生き物が呼吸をするときにも排出されます。地球温暖化の原因になります。

再生可能エネルギー

太陽や風、水などの自然の力を使ってつくられるエネルギーです。何度でも使うことができ、地球にやさしい点が特長です。

対象ゴール

みなさんにできること！

「地球にやさしい技術」をもっと調べて、それを周りの人に伝えてみましょう。

おさらい

- 空気中から二酸化炭素を取り出す「DAC」という技術に注目が集まっている。
- DACは、地球温暖化をこれ以上進行させないためにとても重要な技術。
- 大阪・関西万博の会場ではDACの実験が行われている。

メモ

SDGsラジオ